

■主要諸元

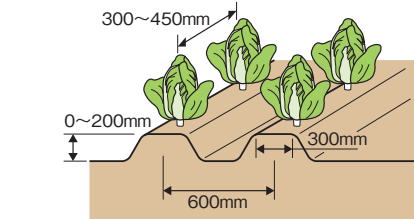
名称		ヤンマーはくさい収穫機		
販売型式名		HH1400		
機体寸法	全長(作業時)	(mm)	5700(5750)	
	全幅(作業時)	(mm)	2160(2610)	
	全高	(mm)	2750	
機体質量(重量)		(kg)	2600	
エンジン	型式名	3TNV86CT		
	種類	水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル		
	総排気量	(L[cc])	1.568[1568]	
	出力/回転速度	(kW[PS]/rpm)	29.3[39.8]/2800	
	使用燃料	ディーゼル軽油		
	燃料タンク容量	(L)	50	
始動方式		セルスタータ方式		
走行部	クローラ	幅×接地長	(mm)	500×1726
		中心距離	(mm)	1075
		平均接地圧	(kPa[kgf/cm ²])	14.8[0.151]
	変速方式	油圧式無段変速(HST+FDS)		
	変速段数	(段) 前後進無段×副変速3段		
刈取部	刈取条数	(条)	1	
	適応条間	(mm)	600以上	
	引抜方式	スポンジベルト		
切断部	昇降調節方式	ゲージ輪(作業時:油圧)		
	莖葉切断方式	回転刃(2枚)		
荷受部	適応コンテナ	鉄枠コンテナ(2基)		
	最大積載量	(kg)	800	
	荷降方式	フォークリフトによる荷受		
	補助者人数	(人)	最大3(180kg)	
適応作物条件	直径/長さ	(mm)	150 ~ 230 / 250 ~ 350	
作業能率(計算値)	(時/10a)	2.0 ~ 4.0		
安全性検査合格番号	NARO 18/067			



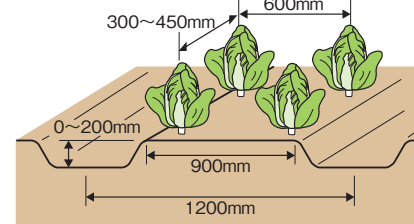
■適応栽培様式

農水省機械化栽培様式に準ずる。

1条植え



2条植え



YANMAR

はくさい収穫機

HH1400

1条刈り



重量野菜の収穫作業をもっとラクに!に応える
ヤンマー野菜収穫機シリーズ

大きくて重い重量野菜の手作業での収穫は大変な重労働。ヤンマーの野菜収穫機シリーズはそんな作業の労力を軽減するために開発されました。より高い耐久性、安心の操作性で、プロの野菜づくりを応援します。

キャベツ収穫機
HC1250/HC1400
1条刈り 1条刈り



だいこん収穫機
HD1250/HD1400
1条掘り 1条掘り



にんじん収穫機
HN1250/HN1400/HN2400
1条掘り・2条掘り 1条掘り 2条掘り



ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。



この印刷物は植物油インキを使用しています。

⚠️ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ



重量野菜の
収穫がラクに!

収穫作業の機械化により 加工・業務用はくさいの 大幅省力化を実現。

大きくて重い加工・業務用はくさいの手作業での収穫は大変な重労働。はくさい収穫機HH1400は収穫しながら選別・調製ができるため、大幅に効率がアップ。補助者はコンテナ台に乗ったままで、腰を曲げずに作業ができます。はくさいが満量になると、コンテナごと出荷できます。

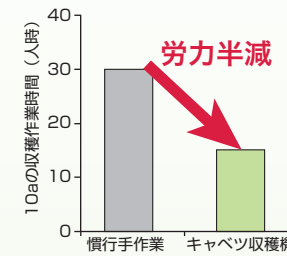


はくさい収穫機
HH1400
1条刈り

重量野菜収穫機の導入で、こんなに変わる！

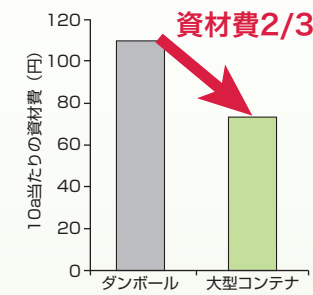
※各データはキャベツ収穫機のデータとなります。

収穫・調製・出荷作業が省力化できる



※H24年9-10月北海道斜里町、品種：おきな、条間×株間：66×35cm。慣行手作業は、刈取6名、ほ場内運搬1名、トラック1名、はくさい収穫機は、収穫、オペレータ1名、補助者2名、ほ場内運搬1名、トラック1名で実施。

出荷経費が削減できる



※ダンボールは10kg詰めで1個110円、大型コンテナ(350kg詰め)のリース料は1基当たり2,546円(18日間リース)を想定。

1ha当たりの収穫・調製にかかるコストが下がる

収穫・調製方法	コスト比較(※1)
慣行手作業	40
キャベツ収穫機	23

4割削減

※1：収穫・調製コストは、「高性能農業機械等の試験研究、実用化の促進及び導入に関する基本方針参考資料09(H20.5)」を参考に試算。機械導入にかかるコストを含まない場合。

機上で選別・調製



コンテナごと出荷OK



はくさいに合わせた高精度な収穫を実現

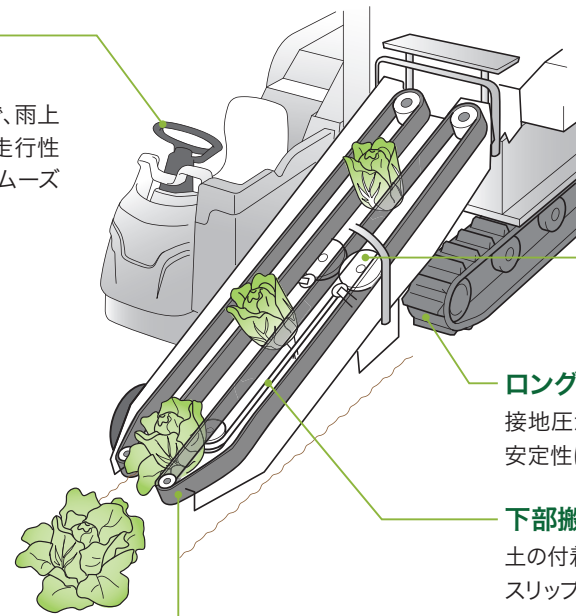
丸ハンドル+FDS (フルタイムドライブシステム)

クローラが常時駆動しているため、雨上がりのほ場や傾斜地でも優れた走行性を発揮。ガクガクすることなくスムーズに快適な作業が行えます。



フィットステアリング

ボタンを左右に操作するだけでゆるやかに旋回が行え、条合わせに便利です。



莖葉切断刃

2枚の回転刃で、搬送されたはくさいの莖葉部を確実にカット。切断面への土の付着が少なく、きれいに仕上がります。



ロングクローラ

接地圧が低く、降雨時や傾斜地などの悪条件下でも安定性に優れ、すばらしい走行性能を発揮します。

下部搬送ベルト

土の付着による目詰まりを軽減するコグベルトを採用。スリップしにくいので、根部の切断が安定します。

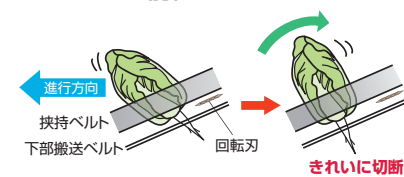
挟持ベルト 挟持ベルトでは、そのままはくさいを掴んで引抜く方式を採用。はくさいを引抜いた姿勢のまま搬送することができます。

●スポンジベルトでやさしく搬送



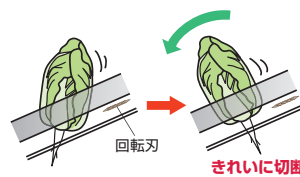
特殊スポンジベルトを採用。はくさいを傷つけず、やさしく引抜き搬送します。

●はくさいが前傾のときは…



挟持ベルトの速度を上げ、はくさいを後方に引っ張り、まっすぐカットする姿勢に調節できます。

●はくさいが後傾のときは…

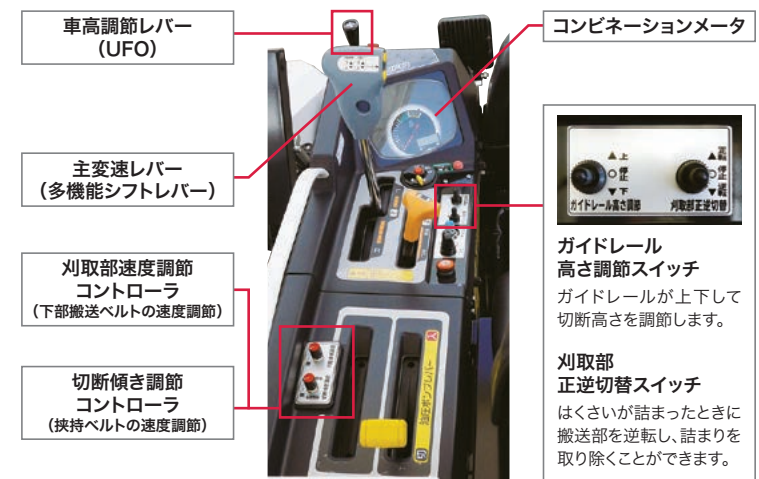


挟持ベルトの速度を落とし、根部が先行して搬送されるようにして、まっすぐカットする姿勢に調節できます。

優れた操作性で効率的に作業ができる！

運転席左側にレバー・スイッチ類を集中配置

操作パネルやメータを運転席左側に配置。刈高さ調節レバーや刈取昇降レバーなどの操作頻度の高いスイッチ類を主変速レバーに配置。レバーから手を離さずに主要な操作ができます。



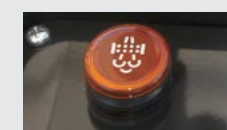
刈取部も見やすい

低い座席位置で、良好な視界を確保しながら、刈取部の搬送状態を確認しながら作業が行えます。



高出力・低燃費なコモンレールエンジン

低NOx^{※1}化を実現したコモンレールエンジンにDPF^{※2}を装着し、国内特殊自動車4次排ガス規制をクリアしています。



●DPF再生で作業を止めない！
「リセット再生」は、作業をしながら100時間ごと^{※3}にスイッチを3秒長押しするだけです。

※1：NOx=窒素酸化物
※2：DPF=ディーゼル・パティキュレート・フィルタ。排ガス中のPM(粒子状物質)を捕集します。
※3：初回のみ50時間以内。
★エンジンオイルにはヤンマー純正の専用オイルをご使用ください。

